

養氣軒だより

vol.10 2011 Spring

目次 contents

- top 予約患者さんの受付方法の変更について
脳卒中ホットラインについて
- 02 ボランティア交流会
医療マネジメント学会
- 03 乳がん検診について
- 04 外来診療日一覧表・患者の権利

information インフォメーション

Nagasaki Kawatana
Medical Center

予約の患者さんの受付方法の変更について

平成 23 年 4 月 1 日より受付方法が変更になりました。
 予約の方は、医事受付窓口で手続きを済ませて、各診療科へお願いします。
 なお、今後は黄色の予約券は使用いたしません。

お願い

予約の患者さんの受付方法が変更になりました。
 医事窓口の再来受付で受付を済ませて、各診療科へお願いします。

病院長



東彼杵脳卒中ホットラインについて

- 急な頭痛、めまい
- ぼんやりする
- しゃべりにくい
- 顔・手足が動かしにくい
- 目が見えにくい

ステッカーは
病院にあります。



などの症状があり、脳卒中と思ったらお電話を！

脳卒中と思ったら・・・、すぐに
長崎川棚医療センターへ！

東彼杵脳卒中ホットライン

0956-82-6699

この電話は脳卒中診療スタッフ直通／24時間対応です。
つながりにくい場合は、お手数ですが、おかけ直してください。



- 急な頭痛、めまい
 - ぼんやりする
 - しゃべりにくい
 - 顔・手足が動かしにくい
 - 目が見えにくい
- などの症状があるときは
お電話を！

平成22年度

ボランティア交流会

1年間ボランティアとして活動していただいた方々に感謝の気持ちを表すとともに、日々の活動で感じたことについて意見交換する機会として、2月24日に交流会を開催しました。

交流会では、宮下院長の挨拶に始まり、職員紹介、ボランティア活動・自己紹介、感謝状贈呈、活動実績報告及び意見交換を行いました。1時間弱と短時間でしたが、意見交換では活発に意見を出していただき、その中で対応方法も検討するなど有意義な会でした。

今年度活動していただいた団体ボランティアは「かしの木会」「更生保護女性会川棚支部」「ほほえみ会」「ゆいの会」「園芸やろう会」で、個人ボランティアは身辺援助やガーデニングの6名でした。

療育指導室長：植村 安浩



▲ 院長挨拶



▲ 交流会風景



医療マネジメント学会

2月26日に開催された日本マネジメント学会第11回長崎支部学術集会において、我々がリハビリテーション科からは有川由美理学療法士が「長崎川棚医療センターにおける1年間の転倒発生状況と関連要因の調査」という事でポスター発表されました。内容は、疾患別に年齢・性別・発生時間帯・使用薬剤などとの関連を調査しており、今後の当院での転倒事故の軽減に繋がる研究発表になったと思います。

運動療法主任：藤田 誠記

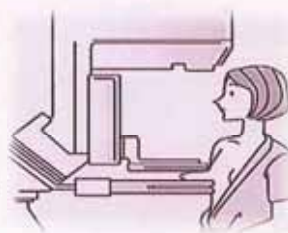
◀ 1年間の転倒発生状況と関連要因の調査

乳がん検診 マンモグラフィと超音波検査

近年、日本において乳がんの罹患率は増加傾向にあります。日本女性の30～60歳代の罹るガンのトップは乳がん、しかも最も乳がんにかかりやすい年代は40歳代と若く、より有効な乳がん検診の開発が急がれています。現在乳がん検診はマンモグラフィ検査が基本となっていますが、40歳代以下の女性には限界があることが指摘されています。そこで、超音波検査を使った診断方法を併用することで検診の精度をあげる試みが行われています。

マンモグラフィ検査

乳房を圧迫板にはさんで平たくして乳房専用のX線装置で撮影します。がんのある人を正しく診断できる精度は80～90%とされています。乳房に脂肪の多い高齢の女性は全体が黒く映り、白っぽく映る乳がんの検出率は高く非常に優れた検査法ですが、若くて乳腺の発達した女性は乳房全体が白っぽく映り乳がんの検出率は悪くなってしまいます。

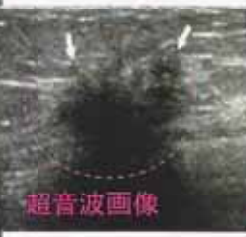



超音波検査

乳房に超音波をあて画像にして異常があるかないかを診断します。放射線を使わないので妊娠中の女性でも安心です。脂肪の多い高齢の女性でも、若くて乳腺の発達した女性においても乳がん検出率は高くなります。しかし、乳がんの種類によって早期に見られる特徴的な微細な石灰化病変を映すのは苦手としています。



マンモグラフィが得意とする乳がんと超音波が得意とする乳がんがあります

<p>腫瘍(乳がん例)</p>  <p>マンモグラフィ画像</p>	<p>(高齢の女性) 黒い背景からは白いものは、割と簡単に見つけられる</p>  <p>超音波画像</p>	<p>陰影(乳がん例)</p>  <p>マンモグラフィ画像</p>	<p>(若い女性) 白い背景から白いものを探すのはちょっと大変</p>  <p>超音波画像</p>
---	--	--	--

注) マンモグラフィⅡ (著者 松永 忠東) より画像引用

J-START(ジェイ・スタート)というプロジェクトが立ち上がりました

厚生労働省は国家的プロジェクトとしてマンモグラフィと超音波を併用する乳がん検診と、マンモグラフィ単独の乳がん検診の比較試験を実施し超音波検査が乳がん検診に有効かどうかの研究を開始しています。しかし、現在日本の乳がん検診率は10～20%と欧米諸国に比べ非常に低いのが特徴です。乳がんは早期に見つければ、乳房を残すことも治すことも可能ながんです。乳がんの早期発見のためには定期的な自己検診と乳がん検診を受けることが大切です。



毎週火曜日の午後、乳がん検診を実施しています

臨床検査科：大崎 晴美

外来診療日一覽表



平成23年4月11日

午前 の部		月	火	水	木	金
内科	新患	春田 大輔	永石 彰子	延末 謙一	河野 史枝	白石 裕一
神経内科	新患	中根 俊成	白石 裕一	榎藤雄一郎	福留 隆泰	永石 彰子
	再来	松尾 秀徳 永石 彰子	榎藤雄一郎	中根 俊成	白石 裕一	福留 隆泰
代謝・内分泌	新患	****	****	****	河野 史枝	****
	再来	****	河野 史枝	****	****	****
呼吸器内科	新患	延末 謙一	山領 豪	山領 豪	内田 隆一	川上 健司
	再来	****	内田 隆一	川上 健司	延末 謙一	山領 豪
循環器内科	新患	吉田 和朗	吉田 和朗	春田 大輔	春田 大輔	吉田 和朗
	再来	****	****	****	吉田 和朗	春田 大輔
消化器内科	新患	(外科)	11:00~ 植木 俊仁	11:00~ 植木 俊仁	(外科)	11:00~ 植木 俊仁
	再来	植木 俊仁	****	****	植木 俊仁	****
外科 10:00~10:30	新患・再来	本庄 誠司 (一般・呼吸器乳腺)	田口 恒徳 (一般・消化器)	宮下 光世 (一般・消化器)	近藤 正道 (一般・呼吸器乳腺)	本庄 誠司 (一般・呼吸器乳腺)
	新患	午後の部	本庄 誠司 (乳腺専門外来)	****	****	****
整形外科	新患・再来	堀内 英彦	八並 幹	藤本 勝也	堀内 英彦	藤本 勝也
脳神経外科	新患・再来	浦崎 永一郎	山川 勇造	山川 勇造	浦崎 永一郎	廣瀬 誠
脳ドック			****			
皮膚科	新患・再来	石川 博士	石川 博士	石川 博士	石川 博士	石川 博士
腹部エコー MDL9:00~		岩野 文彦 松山 直弘	岩野 文彦 松山 直弘	岩野 文彦 松山 直弘	岩野 文彦 松山 直弘	岩野 文彦 松山 直弘
内視鏡 9:00~		田口 恒徳	植木 俊仁	植木 俊仁	田口 恒徳	植木 俊仁
午後 の部		月	火	水	木	金
特殊外来 (要予約)		[バースメーカー] 春田 大輔 14:00~16:00	[いびき] 第2・第4 15:00~17:00 川上 健司 山領 豪 内田 隆一 延末 謙一	[頭痛・難病] 松尾 秀徳 14:00~16:00	[禁煙] 山領 豪 14:30~16:00	

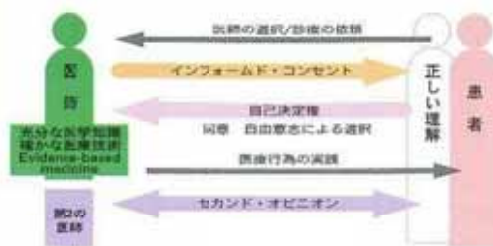
- ① 外来受付時間は、午前8時30分~11時です。
- ② 糖尿病教室は、毎週火曜日14時~15時にカンファレンス室にて開催しています。
- ③ 土曜日・日曜日・祭日・年末年始(12/29~1/3)は休診です。
- ④ セカンドオピニオン外来を実施しています。
- ⑤ 救急の場合は、休診日でも診察いたします。

患者の権利

医療は患者と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき協力して作り上げていくものであり、患者に主体的に参加して頂くことが必要です。私たちは、患者が医療において人間として尊重され、安心して良い医療を受けていただくために、「患者の権利」に関し宣言します。

1. 個人として常にその生命、身体、人格が尊重される【個人の尊厳】
2. 良質の医療を平等に受ける権利
3. 病気、検査、治療、見直しなど自分が受けている医療について知る権利
4. 自分が受ける医療に参加し、十分な説明と情報提供を受けた後で(インフォームド・コンセント)、治療方法など自らの意思で選択する権利【自己決定権】
5. 自分の診療記録の開示(記載内容の説明、閲覧、複写など)を求める権利や他の病院の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利【検証権】
6. 個人のプライバシーが守られる権利

インフォームド・コンセントを基本とした「患者の権利」



「患者の権利」相互間の関係



独立行政法人 国立病院機構
長崎川棚医療センター
(西九州脳神経センター)

〒859-3615 長崎県東彼杵郡川棚町下組部2005-1

電話 0956-82-3121 FAX 0956-83-3710
連携室FAX 0956-82-2280 0120-82-2970

http://www.nkmc.jp/